

# 平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	3	担当部課名称	保健所保健企画課
事務事業名	試験検査（一般依頼）事業		
見直しのタイトル	事業の見直しまたは廃止		
添付資料 有無	無		

## 1 現状における課題

- ・住民、事業者、行政機関等からの試験検査（水質、プール水、ふん便、食品）の依頼の受付を市で行い、その後神奈川県衛生研究所に、検査依頼を行っているところである。
- ・事務の流れとしては、①相談、②窓口受付（容器を渡す等）、③予約日（毎週月曜日）に依頼者から検体及び手数料の受け取り、④検体を衛生研究所へ運ぶ、⑤次週の月曜日に成績書を受け取りに県衛生研究所へ行く、⑥成績書の決裁、⑦依頼者へ成績書を手渡し（窓口）となっている。
- ・事務としては、一連の流れができており、難しい内容ではないが、時間と手間がかかっている。
- ・保健所設置市で必ずしも担わなければならない事務ではない。
- ・水質検査で検査できる項目は14項目しかなく、飲用を目的とする場合は水道法に定める51項目が基準を満たすよう衛生課は指導している。また、災害時には地層や水脈に変化が予測されるため、災害発生前に基準を満たしても、発生後で基準を満たす保証がない。
- ・利用者は、民間や他の機関の検査でも依頼することができ、来庁する必要がなくなるため、利用者の時間的な余裕ができるなど、融通がきくこともあることや、県の時代に一部減免が廃止されたことから、年々検査受付件数は減少傾向にある。

## 2 業務改善の趣旨及び具体的内容

### 【趣旨】

当該事務を見直しまたは廃止することとし、課全体の事務量削減を目指す。見直しまたは廃止の目標年度については、平成32年度とする。

### 【具体的内容】

次の工程を踏まえた後、平成32年度から事業の見直しまたはを廃止する。

- ・一般依頼検査に関する調査・研究を行う。
- ・関係課及び検査実施機関である県衛生研究所、寒川町、神奈川県と協議・調整を行う。
- ・上記を経て、課題の抽出を行い、課題解決に向けて整理を行う。

※その後、市民及び町民への周知や、寒川町事務委託に係る協定書の変更、手数料条例の改訂等、必要な手続きを行う。

### 【補足】

- ・事業の廃止後も、利用者は民間や他の機関で検査対応可能である。

## 3 改善により期待できる効果

- ・課全体の事務量の削減（0.44人工減）

#### 4 実施スケジュール（概要）

平成30年	6月～10月	一般依頼検査に関する調査研究
	11月～3月	関係課及び検査実施機関である県衛生研究所、寒川町、神奈川県と協議・調整
平成31年	6月	課題の洗い出し、解決に向けた整理
平成31年	11月～12月	寒川町事務委託に係る県との連絡調整会議
平成32年	1月～3月	手数料条例の改訂等の準備、周知準備
		寒川町事務委託協定書の変更、例規審査会、周知

#### 5 実施結果の振り返り

- ・現状の課題を踏まえ、関係機関等と事業廃止について確認等を行い、事業廃止による課題及び効果などの調査研究を行い、改めて精査を行った。
- ・当初は、2020年（令和2年度）に廃止の予定であったが、民間によるサービスを受けることが可能であることや、消費税の増税が2019年10月に想定されることなどから、予定を半年繰り上げ、2019年9月末をもって事業廃止とする方向で、検討及び調整を行った。
- ・2019年5月には、関係法規である手数料条例等に関して例規等審査会にて承認をいただき、また、寒川町事務委託に係る県との連絡調整会議においても了解をいただいたところである。
- ・今後、関係法規である手数料条例について、6月議会での承認後、事業廃止の周知を広く行うとともに、必要な手続きを進めていく。